

あなたの目の前に積み木があると、想像してみてください。自然と、積んだり、並べたり、手が動き始めませんか？ 私たちはいつから「遊ぶ」ようになるのでしょうか。

人間の赤ちゃんの視力は、成長とともに発達し、色や形をだんだんと認識できるようになります。やがて自分の手の存在に気がつき、おおよそ1歳前後には、物を意識的につかんだり、離したりと、手を動かせるようになります。赤ちゃんの視覚や触覚はこの時期に急激に成長するのですが、絵本や玩具に接することで、取り巻く世界は広がり、豊かになります。

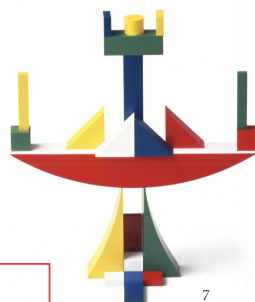
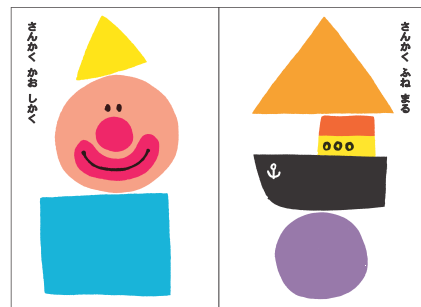
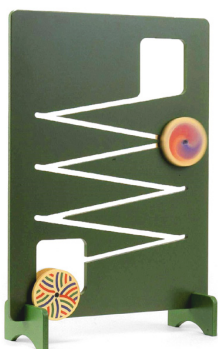
絵本作品『まるさんかくぞう』（及川賢治・竹内蘭子/作）は、カラフルな形が3つ登場します。一番上に丸い形、真ん中に三角、そして一番下に象。あるいは、三角と丸の間に大きな船。実際には積み重ねられるはずのないものが積まれています。非現実を軽々と越えていく想像力とイラストレーションがこの絵本の魅力です。「形にもリズムがあると思う。人間はみんな積み木をしたり粘土をしたりしてリズムやノイズをつくって喜んでいる。」作者の及川さんの言葉は、人間には「遊ぶ」力が備わっていることを教えてくれます。

当館では、1987年の開館以前より、国内外の優れたデザインのトイを収集しています。トイの選定の際に最も意識しているのは、「手で考える」という視点です。例えば、一つの形が様々な形に展開できるものや、年齢を問わずイマジネーションを膨らませてくれるものです。1995年からは「トイコレクションボランティアチーム」を館内に発足させ、トイをコミュニケーション・ツールとしてとらえ、その可能性をさらに広げる活動を展開しています。今年はチーム発足から30周年を迎えます。

人は人を通じて成長します。その関わり方をさらに豊かにしてくれるのが絵本と玩具です。本展では及川さんと竹内さんの2冊の絵本と当館のトイコレクションでその魅力をお伝えします。実際にトイに触れ、遊んでいただけるプレイコーナーもあります。

同時開催の「クラフト・ネフ生誕99年」展では、当館トイコレクションの中心となっている、スイスのトイメーカー、Naef（ネフ）社の創業者であるクラフト・ネフを紹介しします。

ネフは新しい発想の玩具を次々と発表し、20世紀後半における世界の玩具の歴史に多大な影響を与えてきました。優れたトイメーカーとしての功績や、Naef社のこれまでの歩み、そして貴重なトイを展示します。



関連
催事

トイプレイコーナー
ナビゲーター：トイコレクションボランティアチーム（ほか）
会期中の開館毎日10:00～17:00（16:50よりお片付けタイム）
※混雑時は時間交代制といたします

トークイベント | ネフ社のトイ
講師：小柳帝（ライター、編集者）
7月19日（土）14:00～15:30

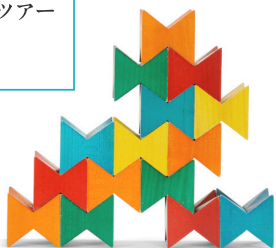
大人のための美術カフェ
ナビゲーター：当館学芸員
7月21日（月祝）14:00～15:00

ニキティキ西川涼さんと一緒にギャラリーツアー
ナビゲーター：西川涼（[株]アトリエニキティキ代表）
8月2日（土）14:00～15:00

※内容や参加方法については当館ウェブサイトをご覧ください。



同時開催
ワークショップ2025夏
○△□えほんトイ



Meguro Museum of Art, Tokyo

目黒区美術館
〒153-0063
東京都目黒区目黒2-4-36
TEL 03-3714-1201
https://www.mmat.jp

- JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線「目黒」駅下車徒歩10分
- 東急バス「権之助坂」（目黒通り）下車徒歩5分、「田道小学校入口」（山手通り）下車徒歩3分
- ※目黒区民センター隣接
- ※当館には来館者専用の駐車場はありませんので、電車・バスなどの交通機関をご利用ください。
- ※お車で越しの場合は隣接の目黒区民センターの駐車場（有料）をご利用ください。

画像：1.目黒区美術館トイコレクションと本展出品絵本 2.ロールバーン/ロジャー・リムブリック、マイク・アリス/1978/ネフ社 3.かめ・鳩笛/柳宗理/1965・1968/柳工業デザイン研究会 4.キュービックアニマル くま/梅田素博/1983
5.「いっこさんく」及川賢治・竹内蘭子/2017/文溪堂 6.「まるさんかくぞう」及川賢治・竹内蘭子/2008/文溪堂 7.パウスハウス/アルマ・ジートホフ・ブッシュャー/1977/ネフ社 8.構成/ブルーノ・ムナリ/1972/ダネーゼ社
9.ネフスピール（初期）/クラフト・ネフ/1958/ネフ社